

熊楠 works

No.
36

2010年10月1日

題字は熊楠自筆

■発行／南方熊楠顕彰会 〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL0739-26-9909 FAX0739-26-9913
<http://www.minakata.org/> (E-mail) minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠……………⑦

フクロツチガキをめぐる南方邸の一日

文／細矢 剛（国立科学博物館 菌類・藻類研究グループ グループ長）

これは、南方熊楠彩色菌類図譜(以下図譜)に出ているフクロツチガキというきのこです(図譜No: F 3448)。

きのこというと、柄の上にかさがあり、かさの下にひだをもった形を想像される方が多いと思いますが、フクロツチガキの仲間は浅い地下に生じるため、ひだもかさもありません。最初は硬い皮(殻皮)につつまれたボールのような形をしています。でもボールの中は空洞ではなく、胞子を含んだ風船のような構造です。成熟すると殻皮が星状に破れ、中央部にマッシュマロのような袋を露出します。そしてこの袋の中の胞子が雨滴や風によって飛び散ります。

実は図譜にはなぜかこの名前が書かれていません(上部に記してある名前はだれかが、ボールペンで記したもので、南方熊楠自身のものではありません)。しかし、熊楠の日記と照らし合わせることによって、このきのこをめぐるエピソードが明らかになりました。

熊楠の大正3年10月8日の日記には、「松枝井潤旧宅ノバレンノ中ニ Geaster 二開キアルヲ見バレン花開ケリトイフ因テ往見レハ菌也 熊弥シテホラシムルニ幼者[*注]ニヲモ見出ス 午後画カシム 夕迄カヘル 次ニ予亦之ヲ画ク、(同ジ紙二) 暗クテ何ニモ出来ズ(翻刻熊楠関西。*注：一般的には幼菌というが、日記の文字は幼者と読める)」と記されています。どうやら、この菌は、南方の妻の松枝が南方邸で、バレンの花と勘違いして熊楠に話したのが見つかったきっかけのようです。熊楠は、この季節に花が咲くはずがないと思い、見に行ったところ、フクロツチガキを見つけたというわけです。成菌がいるからには幼菌(きのこのたまご)もいるはず、と熊弥にあたりを掘らせてみたところ、やはり幼菌が2個も見つかりました。そして、午後には熊弥に成菌のスケッチをさせたのです。図譜の上と下には、タッチの違う二種類の図が描かれています。この上の部分が熊弥のものと思われます。夜になって、熊楠自身も図を書こうとしましたが、「暗くて何にも出来ず」というわけです。もっとも、図譜には熊楠自身の手によるものと思われる絵も描き加えられていますから、後刻、熊楠自身も彩色図を追加したのです。

さて、問題の菌の名前ですが、日記の欄外には熊楠自身の筆跡でF3448 Geastrumと記されています。こうして、図譜のF3448についての謎が明らかになりました。そして、菌をめぐる南方邸での一日が、生き生きと再現されたのです。

図譜には熊楠の行動をめぐるさまざまな謎が、まだ隠されています。それを解明するためには、図譜のような科学的資料と、日記という人文系の資料を統合的に解析する必要があります。フクロツチガキをめぐるエピソードの解説は、このことを物語るものでしょう。



南方熊楠彩色菌類図譜 F3448

上の図は熊弥によるもの、下の図は熊楠自身によるものである。
 本菌はフクロツチガキ Geastrum saccatum と同定される。

CONTENTS

第20回南方熊楠賞 授賞式	… 2 ロンドン滞在記 第三回 松居竜五	… 54
第20回南方熊楠賞 受賞記念講演	… 3 南方熊楠「日光山記行」を歩く(一) 郷間秀夫	… 57
第8回「熊楠をもっと知ろう!」	岸本昌也 … 12	南方熊楠が大英博物館に寄贈した書籍 … 60
第9回「熊楠をもっと知ろう!」	志村真幸 … 22	ヘイミッショ・A・トッド 訳／松居竜五
第9回「熊楠をもっと知ろう!」	唐澤太輔 … 27	「熊楠」生物覚え書⑪ 土永知子 … 61
第10回「熊楠をもっと知ろう!」	… 34	南方熊楠の伝記を正す(二) 中瀬喜陽 … 62
22年度 熊楠研究奨励事業 決定!	… 49	書簡の杜(三) 岸本昌也 … 64
南方熊楠と佐々木喜善 石井正己	… 51	平田寿男宛書簡類について 濱岸宏一 … 66
南方熊楠と牧野富太郎(後篇)田村義也	… 52	イベントのご案内 … 67